

定例公安委員会の開催状況について

令和7年1月16日に定例山形県公安委員会が開催されました。議事の概要は次のとおりでした。

1 定例会報告事項

(1) 2月の行事予定について

2月の行事予定について報告があった。

(2) 令和6年度第3四半期における監察実施状況等について

令和6年度第3四半期における監察実施状況等について報告があった。

各委員から、県警察、警察庁及び東北管区警察局、いずれの監察受監においても要改善事項や指摘事項なしという結果になったのは良かったと思う旨の発言があったほか、今後も基本を徹底した業務を行ってほしい旨の発言があった。

(3) 令和6年中の110番通報受理状況等について

令和6年中の110番通報受理状況等について報告があった。

委員から、受理総件数のうち、いたずら電話等の非有効件数が減少傾向であることは良かった旨の発言があったほか、広報に際しては、非有効件数減少と同時に不審者等の情報提供は積極的に行ってほしいことを加えて広報をしていただきたい旨の発言があった。

委員から、110番映像システムの利用は非常に有効であると思うので広報による一層の周知をお願いしたい旨の発言があった。

委員から、通報件数が多いということは、県民から警察が信頼されている証とも考えることができることから、県民の気持ちを汲みながら業務に当たっていただきたい旨の発言があった。

(4) 令和6年中の交通指導取締り状況について

令和6年中の交通指導取締り状況について報告があった。

各委員から、交通取締りを強化した結果、交通死亡事故抑止につながっているという実績を県民にしっかりと広報すべきである旨の発言があった。

委員から、改正道路交通法により新設された罰則での検挙など、自転車利用者の意識改革のための広報にも配意していただきたい旨の発言があった。

(5) 災害警備本部機能移転等合同訓練の実施について

災害警備本部機能移転等合同訓練の実施について報告があった。

委員から、いつ大規模な地震が発生しても対応できるように準備を進める必要があり、冬期間は二次災害に巻き込まれる可能性もあるので訓練を行うことは大切である旨の発言があった。

委員から、事案発生に備え、あらゆる可能性を想定して訓練することは必要である旨の発言があった。

委員から、災害発生時における関係部署の連携を確認するうえでも定期的な訓練は有意義である旨の発言があった。

2 個別審議等会議

- 銃砲所持者の許可取消について
警察本部から、銃砲所持者の許可取消について説明を受け、決定した。
- 運転免許行政処分審査
警察本部から、運転免許の取消処分に係る意見の聴取、聴聞結果について説明を受け、決定した。
- 実地監査の結果について
警察本部から、実地監査の結果について報告があった。
- 手数料条例の改正について
警察本部から、道路使用許可等に係る手数料条例の改正について報告があった。
- 刑法改正に伴う条例の改正について
警察本部から、刑法改正に伴う条例の改正について報告があった。